

残留熱除去系（C）ポンプメカニカルシール部からの水漏れについて

9月27日午後3時00分頃、原子炉建屋内の残留熱除去系（C）^{*1}の点検後の試運転に伴う系統水張り作業中に、ポンプメカニカルシール部^{*2}より水が漏れいしているのを確認しました。直ちに水張りを中止し、漏れいは止まりました。漏れた量は約16リットル、放射エネルギーは約1900ベクレルでした。漏れた水は拭き取りました。

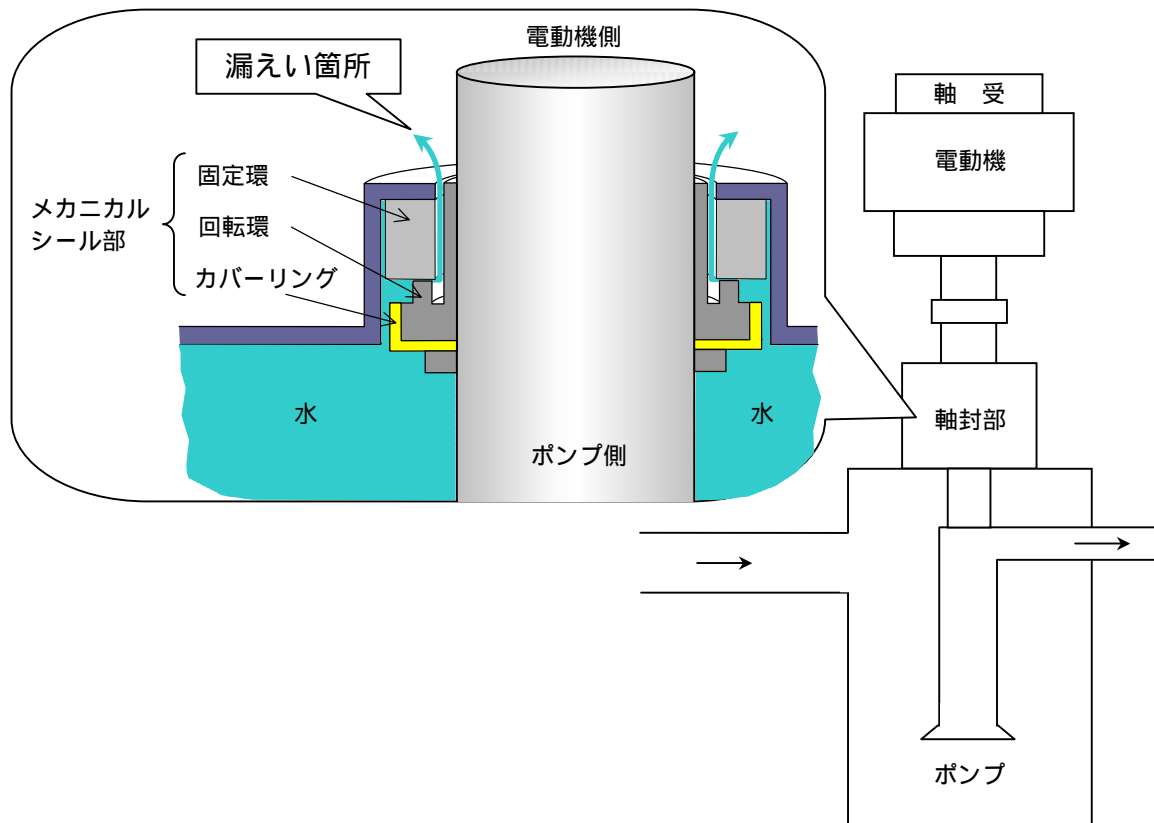
外部への放射能の影響はありません。

原因は、ポンプメカニカルシール部の組立て作業において、取付けるべき部品の一部（カバーリング）を取付けないまま、組立てたことによるものです。

今後、組立て作業時は、図面との照合を確実に行うことで、組立て時の確認を徹底することとします。

* 1 万一の原子炉の冷却材喪失事故時等に原子炉に水を注入し、原子炉の水位を維持するための系統。

* 2 ポンプ内の水が、軸の隙間から漏れ出ないようにする軸封部。



水漏れの状況